

スーパーマップル・デジタル

『MAPPLEルートナビゲーター』とデータ連携 (マニュアル上の記載は『ルートナビゲーター』)

CONTENTS	ページ
A : 『ルートナビゲーター』の情報を取込み、編集	1
B : 『ルートナビゲーター』に取込めるKML形式で出力	4
C : 『ルートナビゲーター』の「ルート(線)」や地図上に表示する「注意地点(文字)」を作成	5
D : テキスト情報を取込みルートを作成 D-1 : テキスト情報を取込み、座標位置を設定 D-2 : 保存されたカスタム情報でルートを作成	9 13
『付録』 : スーパーマップル・デジタルの【設定】やデータの【プロパティ】の使い方	16

【ご注意】

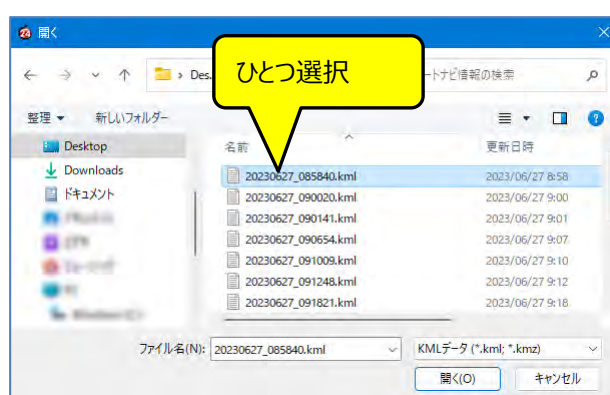
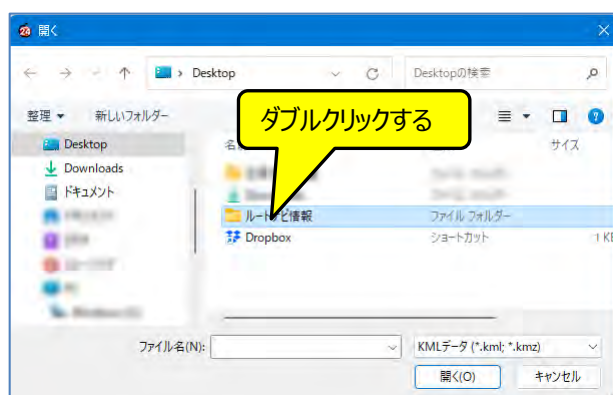
・このマニュアルの内容、画像は「スーパーマップル・デジタル24」をベースに記載しております。
旧バージョンでは、「KML」ファイルの未対応や連携で、不具合が発生する可能性があります。
データの経年変化もありますので、最新のスーパーマップル・デジタルでのご利用をお勧めします。

A : 『ルートナビゲーター』の情報を取込み、編集します。

- ① 『ルートナビゲーター』から出力された【KMLファイル】を取込みます。
・【取込】の【KML】を選択し、【ウィザード】が表示されたら【次へ】

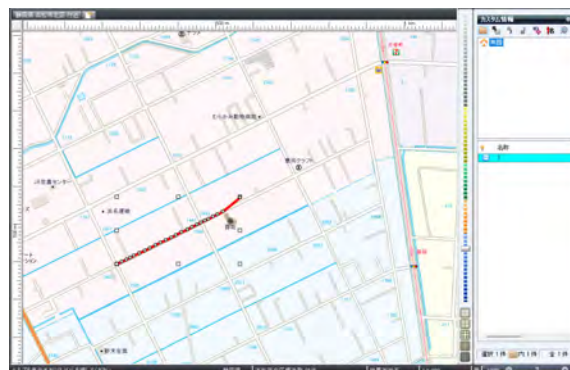
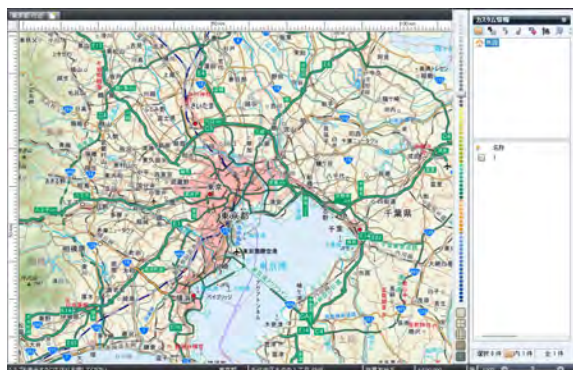


- ② 『ルートナビゲーター』から【出力】された【フォルダー】をダブルクリックし、編集するファイルを選択し、【開く】の【OK】をクリックします。



③ 『スーパーマップル・デジタル』に取込まれます。

・名称欄に取込まれた【ファイル名】が表示され、ダブルクリックしますと地図が移動し、「ルート線」が表示されます。



【ポイント】

複数のデータを取込む場合は、②の操作を繰り返します。

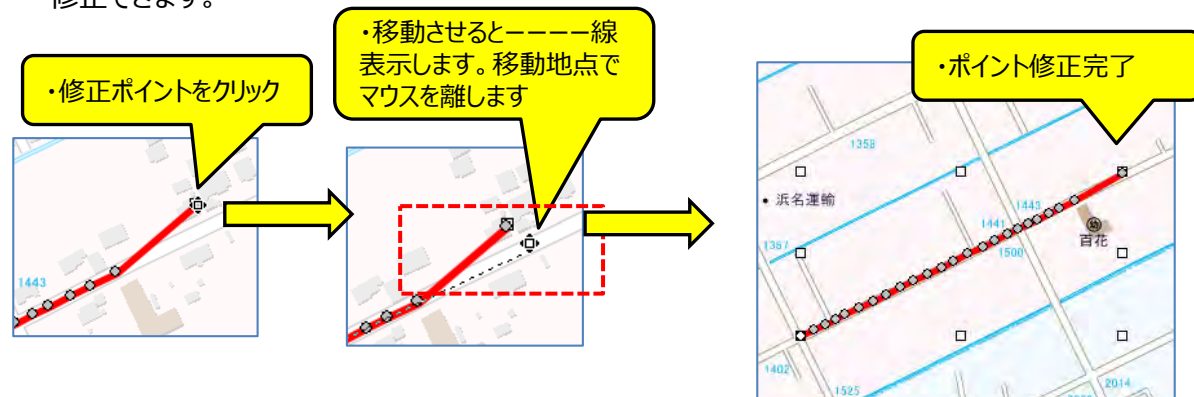
④ 若干乱れた「ルート線」を修正します。



- ・ (選択)アイコンで修正する「ルート線」を選ぶか【名称】欄の「ファイル名」をクリックしてください。線上に○ポイントが表示されます。この○印を移動して線を修正します。

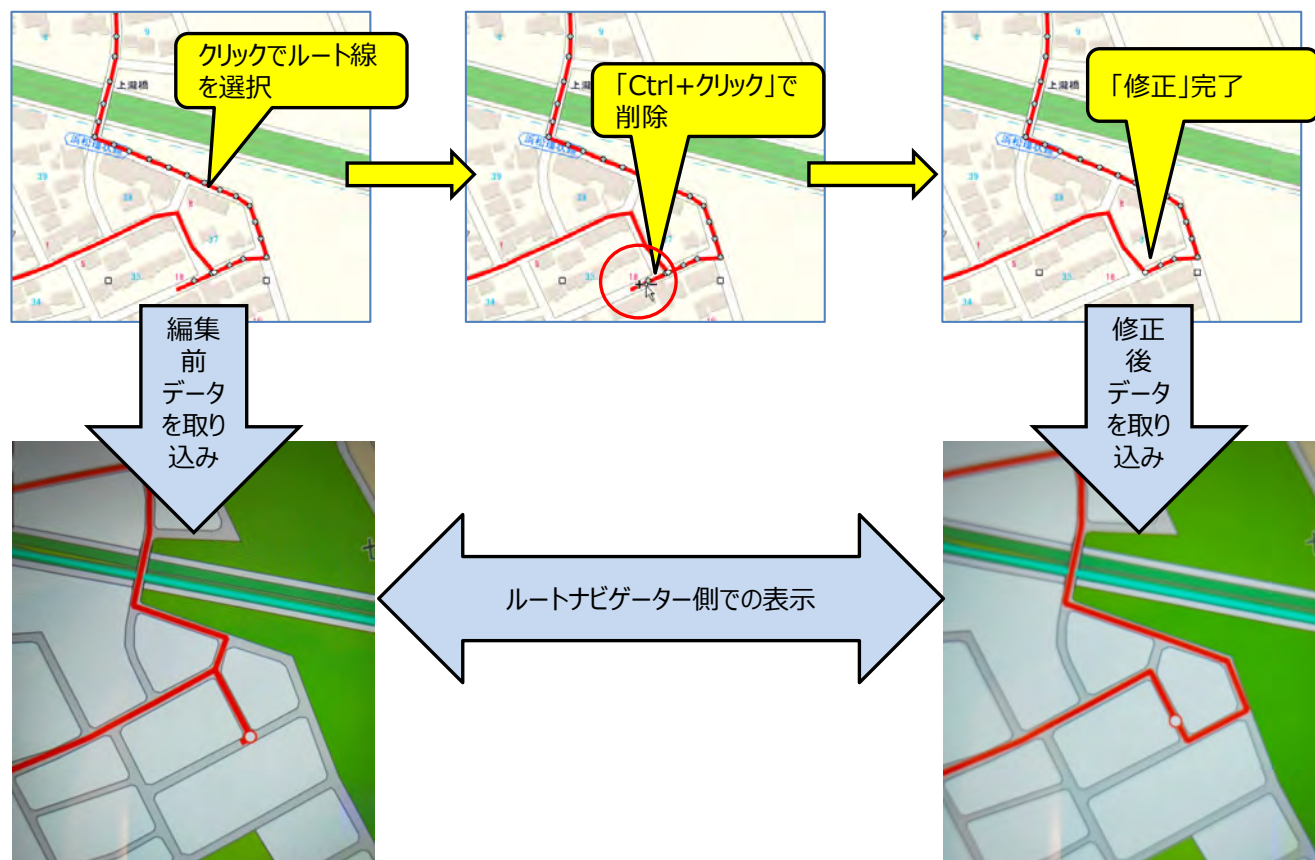


⑤ 修正したいポイントをクリックするとマウスが に変わり、 の状態のままで移動させると、ポイントが修正できます。



⑥ 運送時などで、道の間違いを編集で正しい道順に修正します。

- ・修正したいルート線を  (選択)アイコンでクリックし、「Ctrl」を押しながら、削除するポイントにマウскарソルを置くとカーソルが  に変わりクリックで削除します。



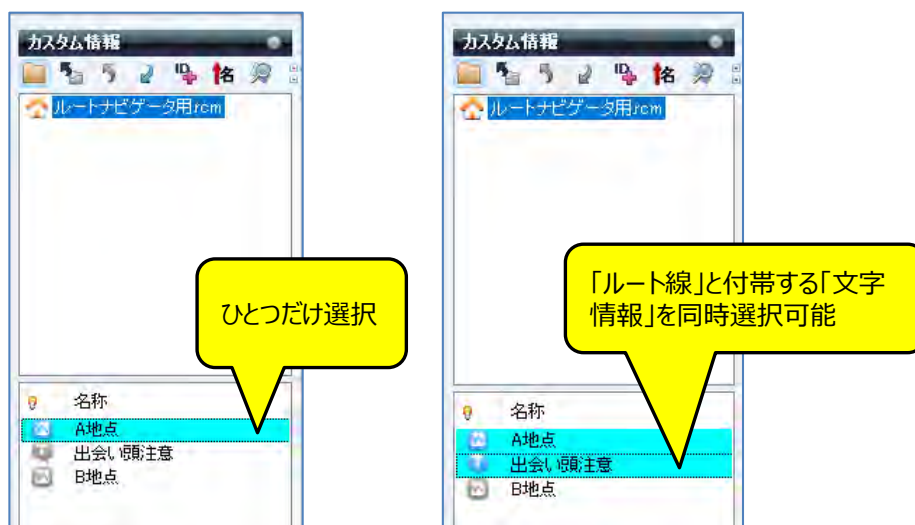
【選択】アイコンを使用中は、下記の「操作ガイド」が表示されますので、参考にしてください。

要素を	ドラッグ	移動
要素ドラッグ終了地点で	Ctrl+マウス離す	要素のコピー
アンカーを	ドラッグ	変形（直線・矩形・円・折れ線）
折れ線の点を	ドラッグ	点移動
折れ線の線分上を	Ctrl+クリック	点の削除
2本の折れ線の端点を	Ctrl+クリック	点の追加
折れ線の開始点と終了点を	Alt+クリック	折れ線の接合
多角形の外形線上を	Alt+クリック	折れ線を閉じる
	Shift+Alt+クリック	多角形を開く

- ⑦ 修正されたルート線は「B：『ルートナビゲーター』に取込めるKML形式で出力します。」を参考に「出力」します。
※データ保全の為、情報をカスタム情報ファイル（.rcm）で保存します。

B : 『ルートナビゲーター』に取込めるKML形式で出力します。

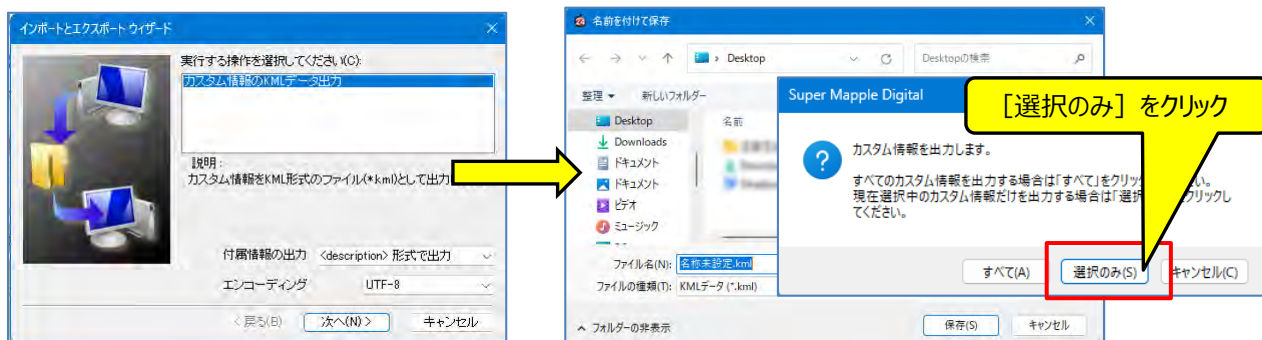
- ① [作業バー] の [カスタム情報] 欄の [名称] 欄から、出力する「ルート線」や「文字情報」を選択します。
 ※ルート線は複数の選択はできません。
 ・ ルート線は一つずつ選択し出力します。また、文字情報はルート線に付帯する情報を同時選択できます。



- ② [出力] の [KML] を選択します。



- ③ [出力] の [KML] を選択し、任意のファイル名を入力します。
 ポイント：[保存] の後、出力の対象選択が表示されますので [選択のみ] 選択します。



C:『ルートナビゲーター』の「ルート(線)」や地図に表示する「注意地点(文字)」を作成する

※スーパーマップル・デジタルで作成されるルートはあくまで参考ルートです。
 確定はルートナビゲーターで確認し実走の上、確定します。

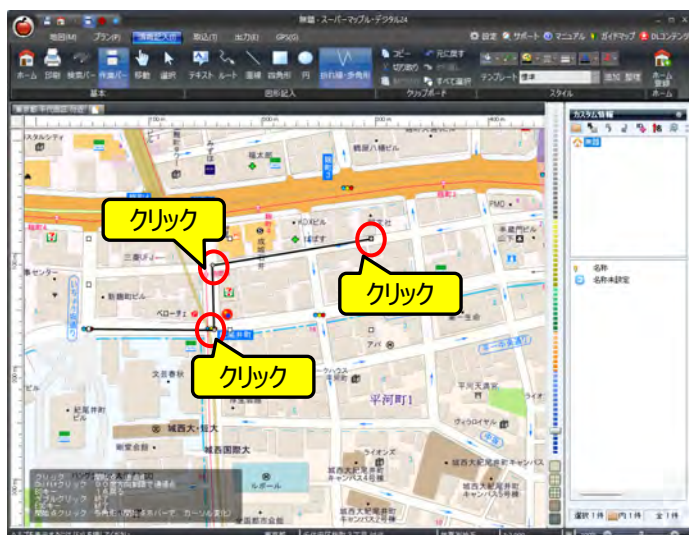
- ① [情報記入] の [折れ線・多角形] で『ルートナビゲーター』用の「ルート」作成を行います。



【重要】

スーパーマップル・デジタルでは『ルートナビゲーター』との形式に違いがあるため、[プラン] や [情報記入] の [ルート] では作成はできませんので、ご承諾ください。

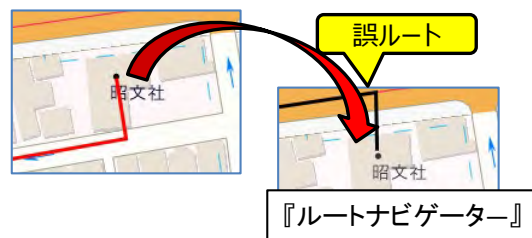
- ② スタート地点から目的地まで [折れ線・多角形] で道路に沿って、曲がるポイントでクリックして線を引きます。



【ポイント&注意】

ルート線を引くとき、地点を必ず、道路の上から引いてください。

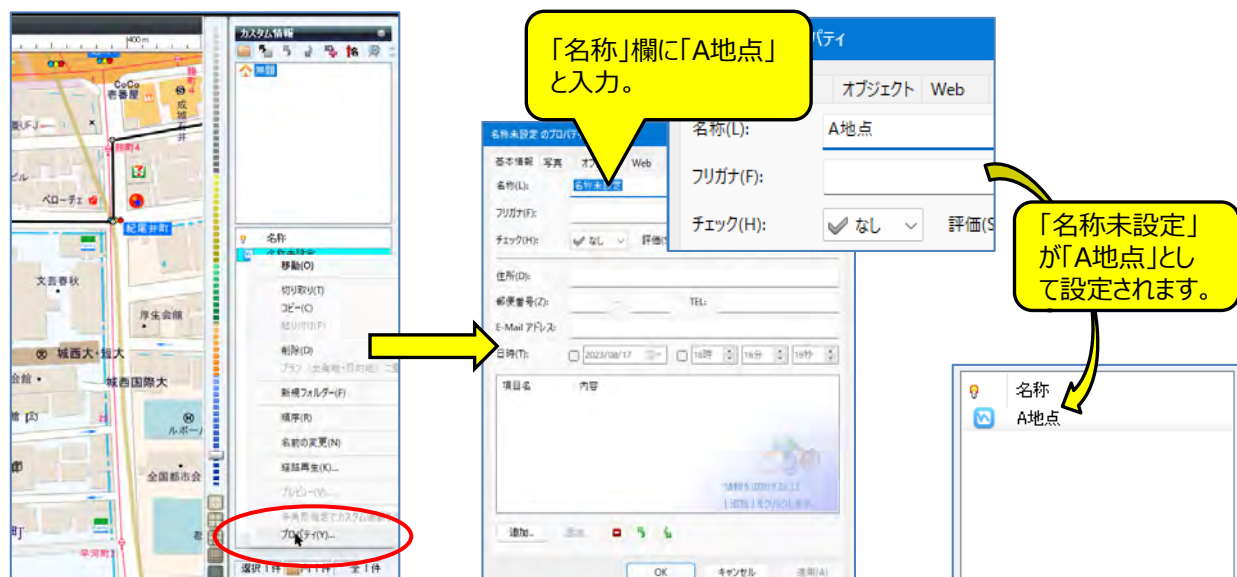
※下図のように、建物などを地点にすると、『ルートナビゲーター』側で、正しいルートを認識できない場合があります。



- ③ 「キーボードの矢印キー」か、地図画面の端にマウスを持ていくと、画面がスクロールし、地図が移動します。
 到着地点で「ダブルクリック」すると、「ルート」が完了します。



- ④ 画面右側の【カスタム情報】欄の【名称】欄の「名称未設定」を、ルート線に「名称」の設定をします。
「名称未設定」を右クリックし、【プロパティ】を選択して、名称を入力し、【OK】で名称が設定されます。



【ご注意】

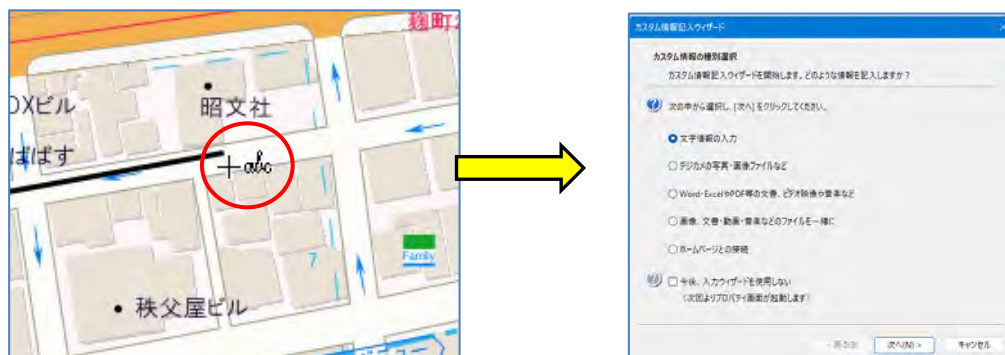
ルート線は閉じないでください。「線」ではなく「面」の扱いになり、『ルートナビゲーター』で認識できなくなります。
※下記の図参照

※「折れ線」ではなく「多角形」になる  カーソルの表示

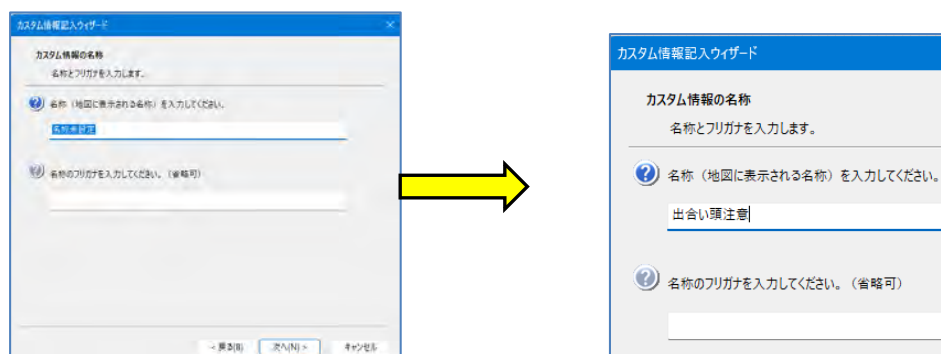


「ルート線」設定中に「カーソル」が  に変化したら「線」ではなく、「面」としての多角形になり、『ルートナビゲーター』で認識できなくなります。

- ⑤ 『ルートナビゲーター』の地図上の地点に文字情報表示には、[情報記入]の[テキスト]を選択し、地図上にマウスカーソルをもっていくと、の形になりますので、任意の地点でクリックします。
[カスタム情報記入ウィザード]が表示されますので、[文字情報の入力]を選択し[次へ]をクリックします。



- ⑥ カスタム情報に設定する名称を入力したら、他の項目は『ルートナビゲーター』では使用しませんので、連続して[次へ]をクリックし[完了]します。（例：「出会い頭注意」の文字）

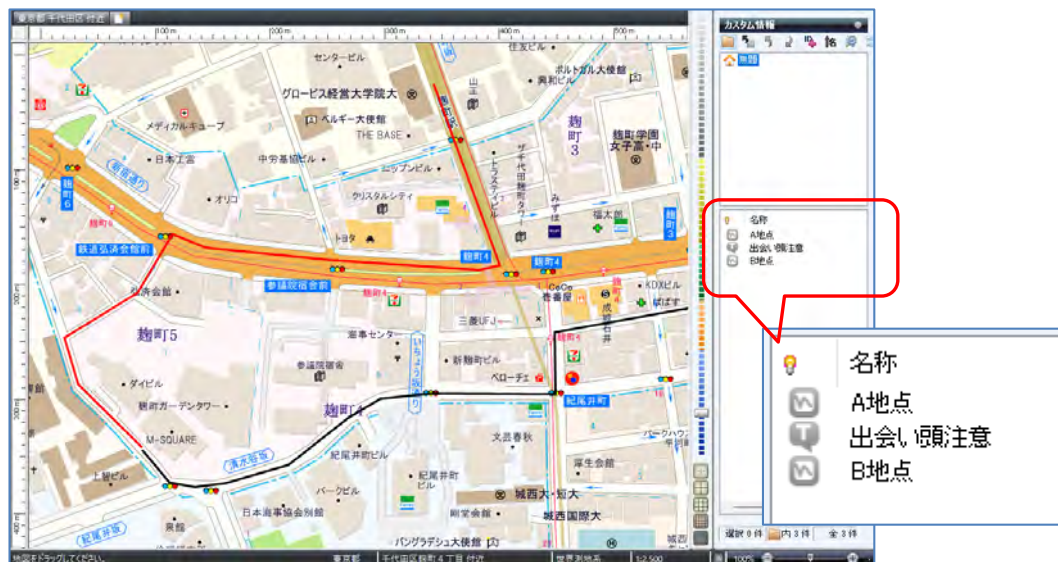


- ⑦ ルート線の[名称]は「A地点」、地図上に表示する文字情報は「出会い頭注意」が作成されます。



⑧ 続いて、次の地点のルートを作成します。

A地点からB地点へ②で行った操作を繰り返します。（例：B地点まで判りやすいよう赤線表示）

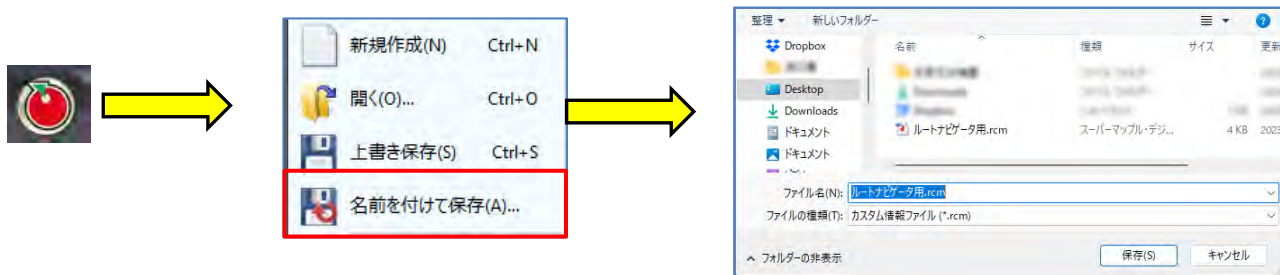


【ポイント】

ルート線は地点間を一つのルートとして作成します。
複数の地点を移動する場合は複数のルートを作成します。
10の地点を移動する場合は、10のルート線が必要になります。

⑨ ルート線、文字情報の作成が完了しましたら、データをカスタム情報ファイルとして保存することをお勧めします。

画面左上の「リング」アイコン⇒「名前を付けて保存」⇒例：「ルートナビゲーター用」⇒「保存」



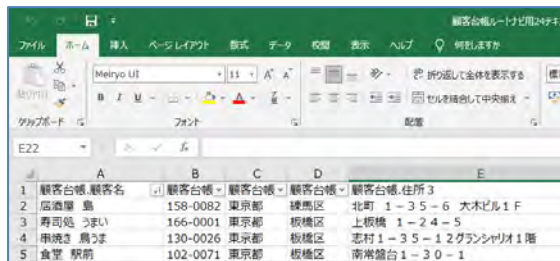
【ご注意】

『スーパーマッフル・デジタル』で作成されたルート線は、交通規制などが反映されていない箇所があるため、参考ルートです。
必ず『ルートナビゲーター』に取込んでルートを確認して下さい。

D：テキスト情報を取込みルートを作成する

D-1：テキスト情報を取込み、座標位置を設定します

「MSエクセル」の「XLSX形式」などで顧客先/運送先管理などのデータをスーパーマップル・デジタルにカスタム情報として取り込むことができます。



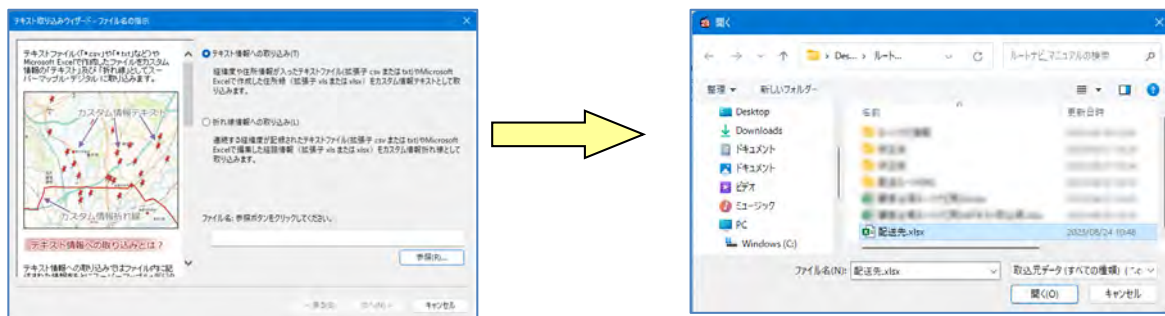
	A	B	C	D	E
1	顧客台帳_顧客名	顧客台帳_	顧客台帳_	顧客台帳_住所3	
2	店番	158-0082	東京都	練馬区	北町 1-35-6 大木ビル1F
3	寿司処	166-0001	東京都	板橋区	上板橋 1-24-5
4	車検	130-0026	東京都	板橋区	志村 1-35-1 2 グランシャリオ1階
5	食家	102-0071	東京都	板橋区	南常盤台 1-30-1

【参考】一度に取り込めるデータは、データ内容の容量と機種能力によりませんが、約1万件程度可能です。

① スーパーマップル・デジタルを起動し、[取込]タブの[テキスト]をクリックします。



② 「テキスト情報への取り込み」を選択し、[参照]をクリック「取込む」ファイルを選択し、[開く]をクリックします。

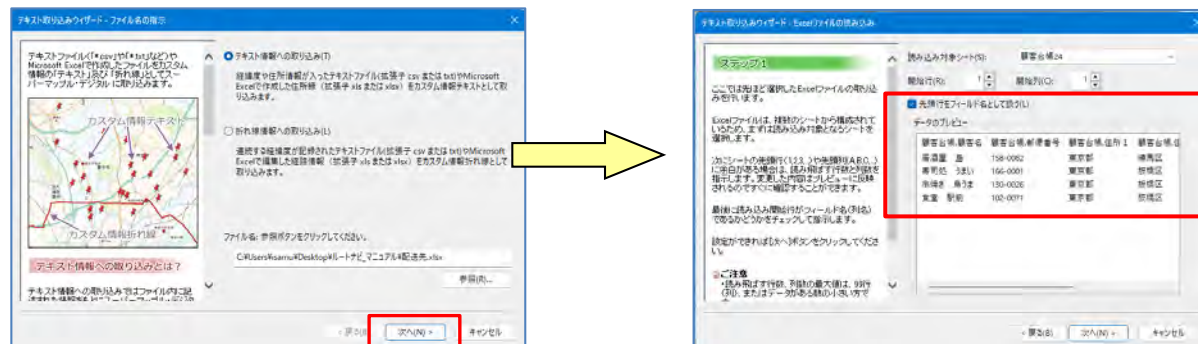


③ 「ファイル名」を確認後、「次へ」をクリック。

[ステップ1] で、【データのプレビュー】を確認し [開始行] [開始列] で項目名が先頭行になるよう設定します。

★[先頭行をフィールド名として扱う]の意味は

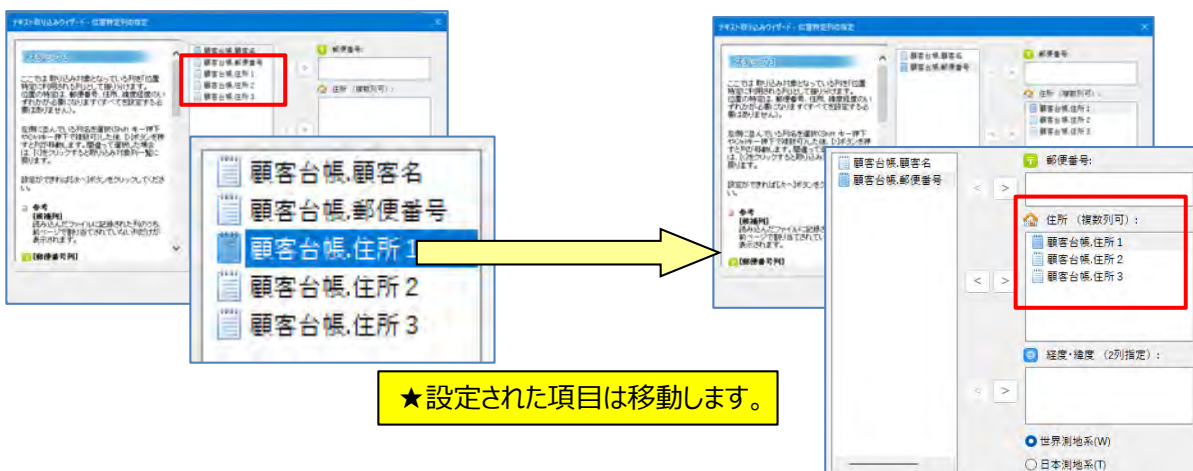
- ・先頭行をフィールド名（項目名）として取り込みます。
- ・先頭にフィールド名が無い場合は、自動的にフィールド番号が付与されます。



- ④ [ステップ2] は、各列（項目名）のデータ形式の確認をしますが、今回はテキスト形式でOKです。

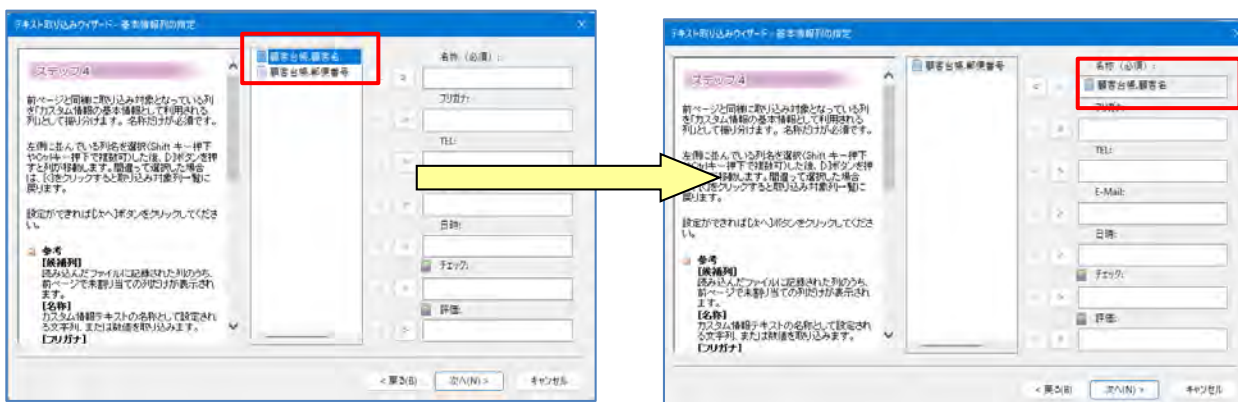


- ⑤ [ステップ3] は、表示位置を特定するために、今回の例では「住所 1、住所 2、住所 3」を移動します。
※「住所」一つの項目に記載されている場合は、ひとつの項目の移動で「OK」です。

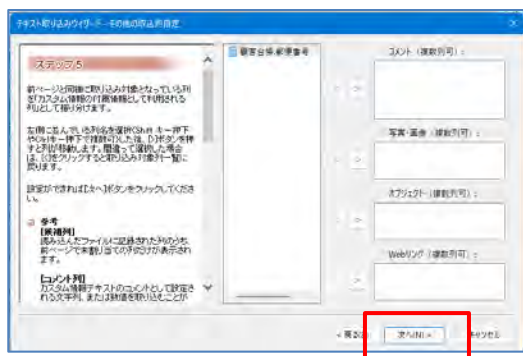


【重要】テキストファイルの取り込みでは、名称、表示位置（郵便番号、住所、経度緯度）の設定が必須です。

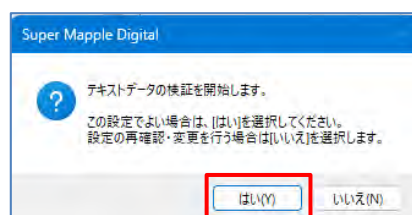
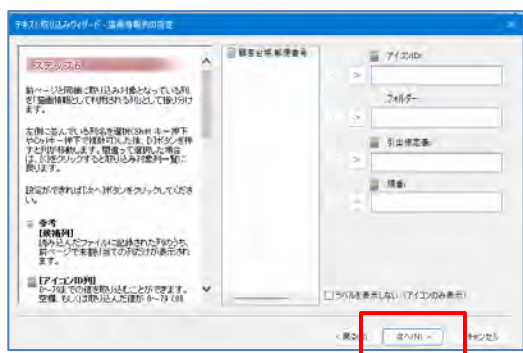
- ⑥ [ステップ4] は、名称（必須）を移動します。その他の項目は必要ないので「次へ」をクリックします。



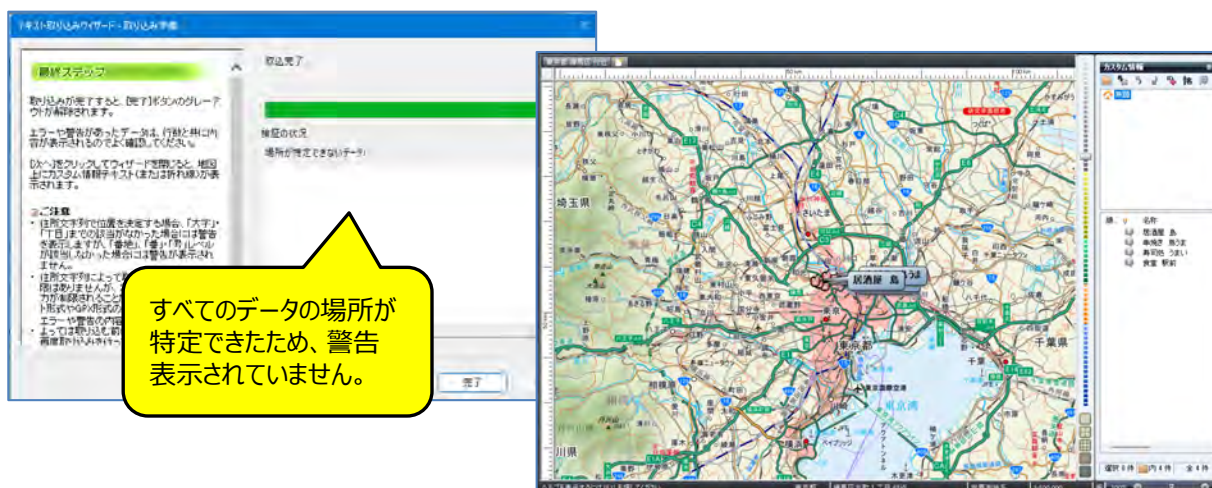
- ⑦ [ステップ5] は、使用しませんので [次へ] をクリックします。



- ⑧ [ステップ6] も、使用しませんので [次へ] 。検証開始で [はい] をクリックすると、テキストデータを検証し、取込みを開始します。



- ⑨ [最終ステップ] は、取込み後の状況を表示します。
※カスタム情報として保存し、ルート線作成に活用します。



・「大字」「市区町村」までしか、一致しなかった場合には警告を表示しますが、「番地」、「番」・「号」レベルまで一致した場合は警告を表示しません。

【住所による、取り込みについてのご注意】

- ・東京都や大阪府などの特別政令指定都市、政令指定都市や、その他の県などは、その土地の住所体系が異なるため、若干警告の表示内容が違いますのでご了承ください。

- ⑩ 住所などの不備により、[場所が特定できないデータ] が存在した場合は、地図上で「位置」を修正します。

検証の状況

場所が特定できないデータ:

6行目 警告：市区町村まで一致	東京都練馬区
12行目 警告：市区町村まで一致	東京都板橋区

- ⑪  (選択)アイコンで特定できていないデータをクリックし、正しい位置に「移動」します。

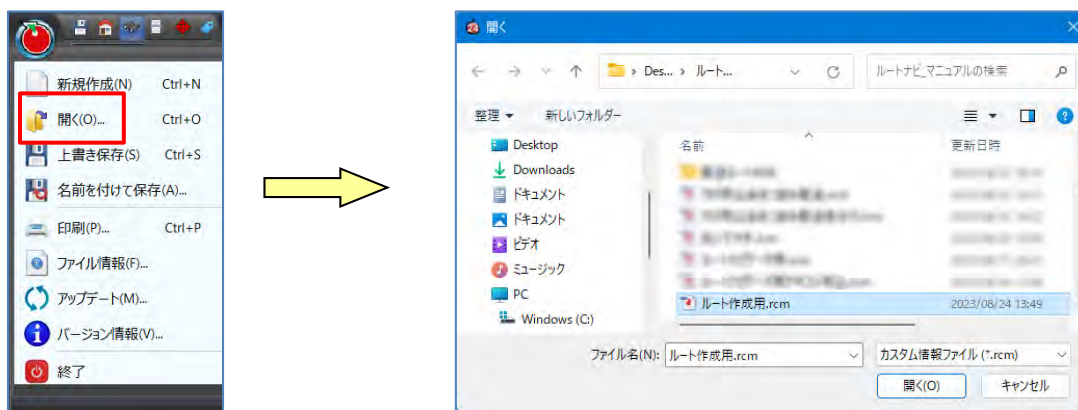


【場所が特定できない場合の「取込位置」】

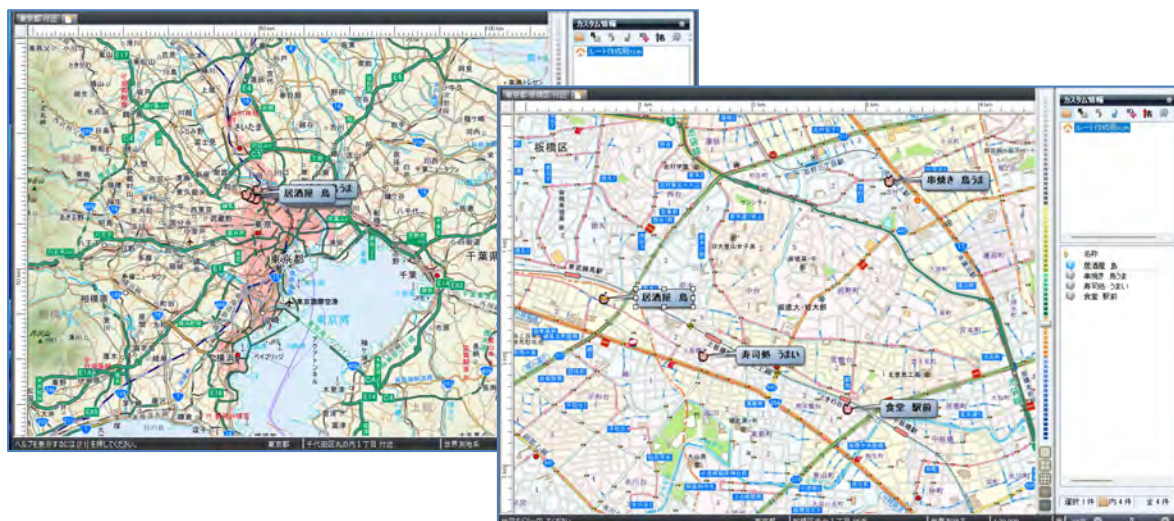
- ・「都道府県」レベルの場合は、「都道府県庁」の場所に表示。
- ・「市区町村」レベルの場合は、「市区町村役所・役場」の場所に表示
- ・「町丁目」の場合は、地図に記載されている、「町丁目」の位置に表示

D-2：保存されたカスタム情報でルートを作成する

- ① スーパーマッブル・デジタルを起動し、 アイコンをクリックの「開く」で該当のファイルを選択します。

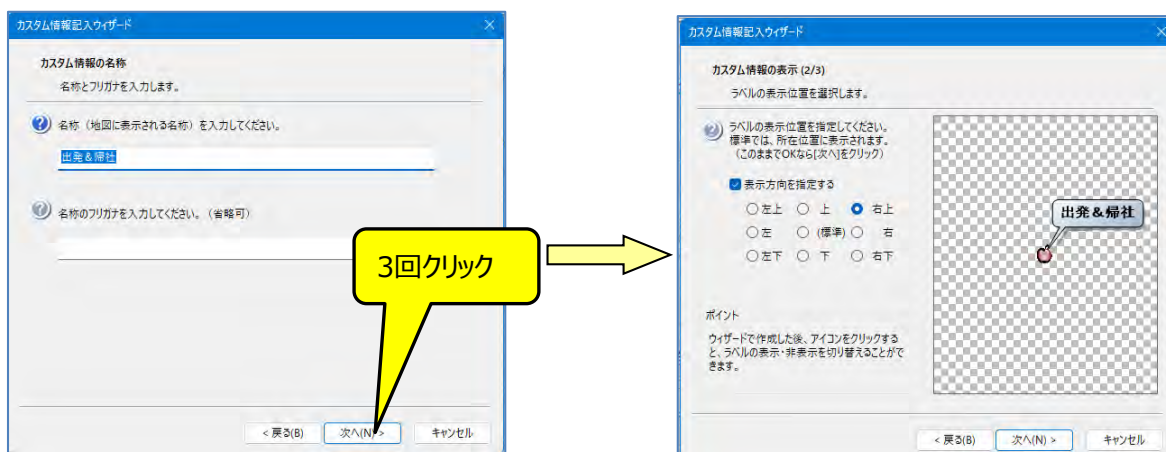


- ② 表示された地図を見やすいように「拡大」「移動」します。



- ③ 「配送先」が地図上に表示されていますので、「出発/帰社」地を登録します。

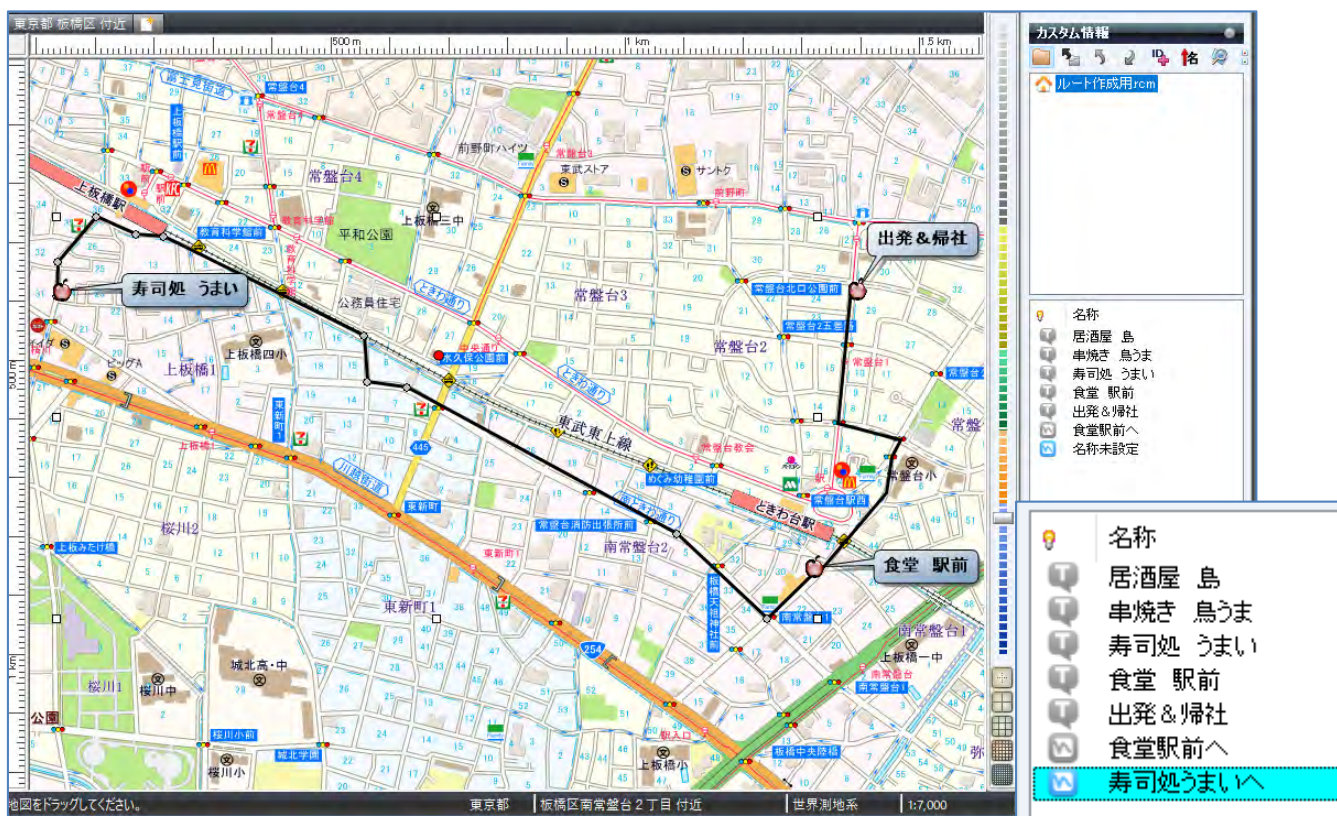
- ・「情報記入」の「テキスト」 で「P7の⑤」と同じように地図上に記載し、「次へ」を3回クリックし「カスタム情報の表示(2/3)」で、見やすくするため「表示方法」を「右上」にし、「次へ」の「完了」にします。



- ④ 「出発＆帰社」から「折れ線・多角形」で、最初の配送先へ「ルート線」を引くと、[名称] 欄に (線表示アイコン) 「名称未設定」が表示されますので、右クリックし、「名前の変更」で「名称」を記入します。



- ⑤ ④と同様に、次の配送先へルート線を引いて [名称] を記入します。



⑥ 配送先の「ルート」が作成されます。「保存」します。



【ご注意】

『スーパーマップル・デジタル』で作成されたルート線は、交通規制などが反映されない箇所があるため、参考ルートです。必ず『ルートナビゲーター』に取込んでルートを確認して下さい。

- ⑦ ルートナビゲーターへの出力は、「P4のB：『ルートナビゲーター』が取込めるKML形式で出力します」を参照し、活用します。
- ⑧ 大胆に、配送先のルートを「直線」で結ぶこともでき、『ルートナビゲーター』でルート作成できます。但し、使用者の「意図」するルートが『ルートナビゲーター』で確認できるかは不明ですので、ご承諾ください。



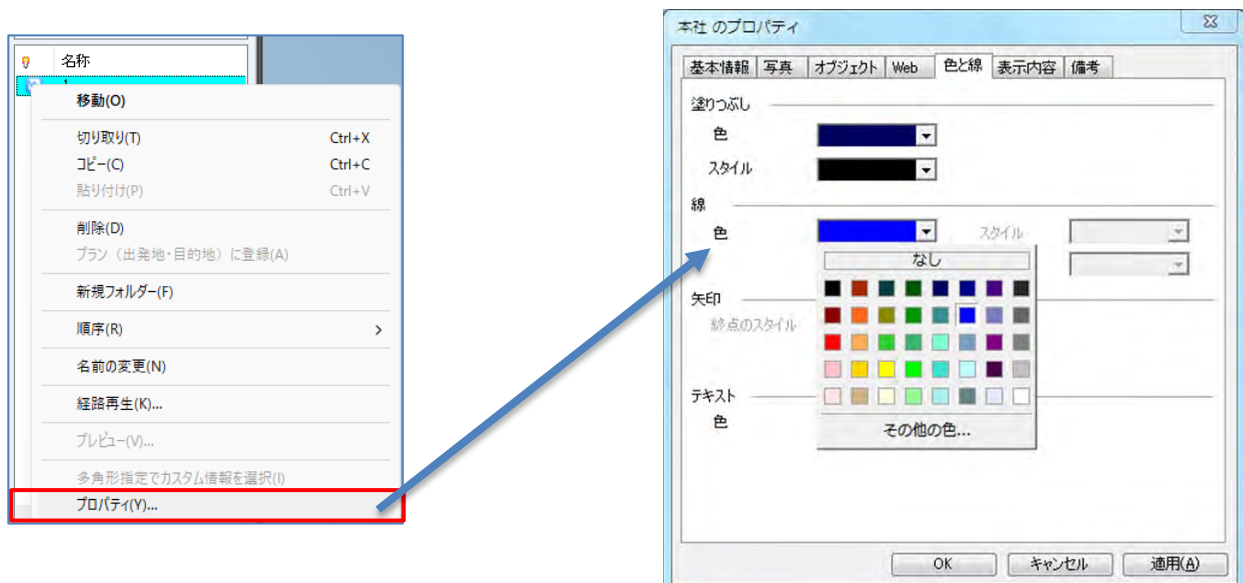
『付録』:スーパーマッブル・デジタルの[設定]やデータの[プロパティ]の使い方。

- ① 画面右上の[設定]を選択すると、各種の動作設定ができます。

※例：[地図・その他]の最下部にある「情報記入時の操作ガイド」をOFFにすると、画面から消えます。

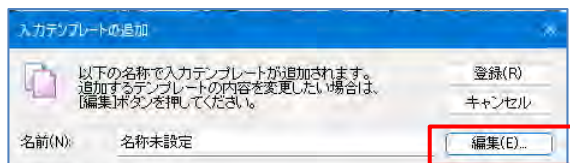
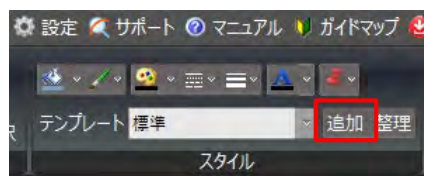


- ② ルート線や文字情報の[色と線]など変更するときには、カスタム情報欄の名称を右クリックし、[プロパティ]を選択。表示アイコンなどを変更・設定する場合は[表示内容]タブを選択し、行ってください。

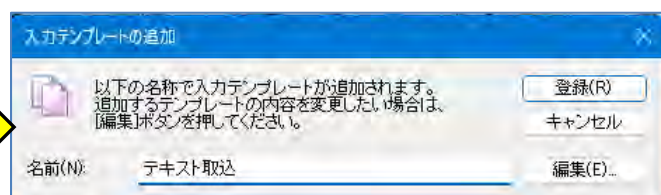


③ テキストデータなどの取込前に、[情報記入]の[テンプレート]を作成しておく便利です。

- ・[テンプレート]の[追加]⇒[編集]をクリックします。



- ・[表示内容]タブ⇒[位置表示の設定]の[既定]でアイコンを標準の「リンゴ」から「ピン」などに変更し、[OK]し、「名前」を付け[登録]します。



- ・テキストデータの取込み時に、[テンプレート]で「テキスト取込」を選択しますと、アイコンは「リンゴ」ではなく、登録された「ピン」などが表示されます。



以上